

# 数学科 中学校 2年

単元名 一次関数  
啓林館 未来へひろがる数学2

## 本時の流れ (第11時)

本時の目標の確認

二元一次方程式のグラフのかき方を確認する。

### 課題①

2つの方程式  $x + y = 7$ ,  $2x + y = 10$  のグラフをかき、2直線の交点の座標を読みとる。

### 課題②

連立方程式  $\begin{cases} x + y = 7 \\ 2x + y = 10 \end{cases}$  を解き、課題①で求めた2直線の交点の座標と比べる。

### 全体交流

課題①で求めた2直線の交点の座標と、課題②で求めた連立方程式の解が一致することを確認し、2つのことがらを結びつけ、交点の座標が連立方程式の解になっていることを明らかにする。

### 練習問題

連立方程式をグラフを使って解き、その解が計算で求めた解と一致することを確認する。

### 学習のまとめ

本時の振り返りと次時の予告をする。

本時の目標

○一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフとの関係や連立方程式とグラフとの関係を明らかにする。

二元一次方程式を  $y$  について解きグラフをかく方法、2点を求めてグラフをかく方法を確認する。

### 【課題①】

2つの二元一次方程式のグラフをかき2直線の交点を確認する。そして、その交点は両方の直線上にあることを確認し、2直線の交点が何を表すのか考えさせる。

### 【課題②】

連立方程式を解き、その解が2直線の交点の座標と一致することを確認する。

二元一次方程式の解と直線の関係、2直線の交点の座標と連立方程式の解との関係から、交点の座標が連立方程式の解になっていることを実感できるようにする。

## 活用の力を育てる評価の視点

連立方程式の解と2直線との交点の関係について、連立方程式の解と2直線の交点の座標が一致することを、グラフをかく活動や、連立方程式を解く活動を通して実感させ、連立方程式の解の意味の理解を深める。

< 数学的な見方や考え方 >

評価問題

単元の流れへ

HOME